

在宅・長寿の我がまちづくり 「人形小路等整備事業」

愛知県 高浜市 都市政策部 都市整備グループ

1. はじめに

高浜市は、日本のほぼ中央にある愛知県の三河平野南西部に位置し、人口約4万5千人、面積13.0km²のまちです。古くから窯業が盛んで、中でも三州瓦の中心産地として栄えてきました。

また、高浜市の北部に位置する吉浜地区は、江戸時代から「人形の里」として知られており、吉浜地区でつくられる「吉浜細工人形」は愛知県の無形文化財にも指定されています。

江戸時代、吉浜地区では豊作祈願として、刈り取った綿の実で「綿人形」をつくり、神社に奉納する習わしがありました。それが発展し、松笠、苔・五穀・貝殻など、趣向を凝らした装飾を施したものが細工人形の起源といえます。

毎年5月上旬には柳池院と宝満寺において「吉浜細工人形展」が開催されていますが、細工人形の展示とあわせた、細工物に花を使った花人形も作られました。

明治・大正時代に菊人形が隆盛になると、当地の人々の細工人形の製作技術を活かした菊師が日本各地で活躍するようになりました。

吉浜地区は全国各地で行われている菊人形の発祥の地といえます。



2. 人形小路

「人形小路」は吉浜地区の中心部に位置しており、かつては多数の商店が立ち並び、「吉浜の銀座通り」とも称されていました。しかし近年は、店主の高齢化や後継者不足等により空店舗が増加し、商店街の

衰退が進んでいます。こうした背景のもと、郷土の伝統文化である「吉浜細工人形」(愛知県無形文化財指定)を、吉浜地区の商店街の空店舗等に展示することで、伝統文化の保存・活用と商店街の賑わい創出を目指していこうと、平成18年4月に地域住民、商店事業者らが中心となって「人形小路の会」が発足しました。

人形小路の会では、商店街への細工人形展示場の設置や、のぼり掲揚によるムード演出などのハード整備事業と、「花まつり」「七夕まつり」「菊まつり」「雛めぐり」といった季節イベントなどのソフト事業を主体的・精力的に取り組んでいます。



活動を進める中で、全国各地で開催されている菊人形展の大半が、吉浜地区の出身者やゆかりのある職人(菊師)が支えてきたことが判明し、全国に誇れる吉浜地区の伝統文化を後世へ継承し、活用していこうという機運がさらに高まってきました。平成19年3月末に発足した「吉浜まちづくり協議会」では、伝統文化の発展に関する事業として「菊づくり・花づくり事業」を掲げ、菊人形、細工人形づくりの活性化とともに、高齢者と子どもたちとの異世代交流や花いっぱい環境整備を行うことによって、吉浜地区の活性化を図ることを目指しています。

3. まちづくり協議会

平成18年4月に発足した吉浜まちづくり協議会設立準備委員会では、吉浜小学校区内で活動する各種団体の代表者などを構成員とする40名の委員が、まちづくり協議会の設立に向けて実施事業の検討に取り組んできました。

吉浜小学校区は、厚生労働省・国土交通省が共同実施した「在宅・長寿の我がまちづくり調査」(高齢者を含む全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりについて総合的に検討)のモデル地区として選定され、実施事業の検討にあたって、環境・防犯・防災・



子ども・高齢者・伝統文化の6つの事業分野ごとにグループを編成し、委員とその事業分野を所管する市の職員と協働で検討し、その中から浮かび上がる課題や対応策を踏まえ、ソフト、ハード両面でのまちづくり事業計画を作成し、「高浜市 在宅・長寿の我がまちづくりプラン」としてとりまとめました。

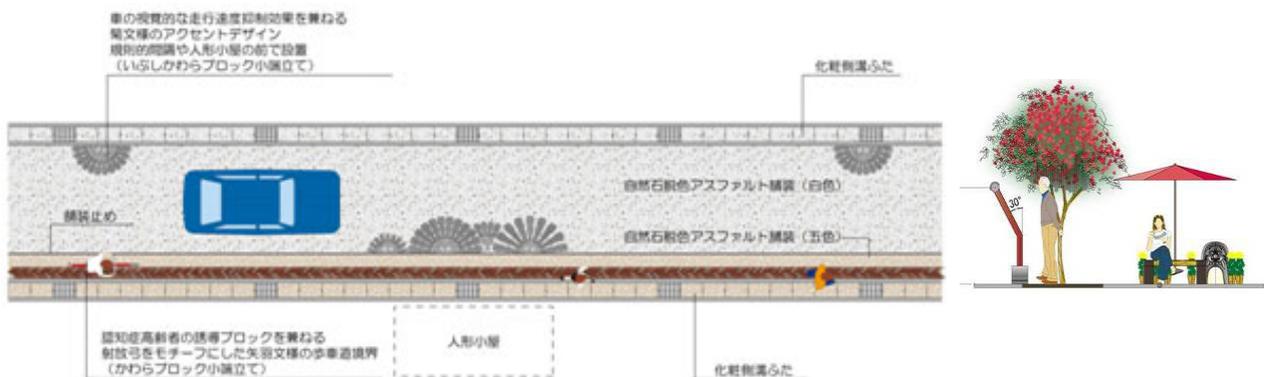
4. 「高浜市 在宅・長寿の我がまちづくりプラン」

「高浜市 在宅・長寿の我がまちづくりプラン」の基本理念である「誰もが住みやすく安全・安心で活気のあるまち」を実現するため、次に掲げる整備方針に基づいた空間整備を計画し、まちづくり交付金を活用して、平成20年度～24年度の5か年事業として、整備を進めています。

安全・安心な空間の整備と健康づくりの推進

既存の「人形小路」を活用した、地域住民の安全と健康に配慮した空間整備を行い、吉浜地区における歩行者ネットワークを構築するとともに、観光客の来訪を促す魅力づけを行います。

今後増加が見込まれる認知症への対応として、時間・空間に対する見当識を効果的に支援するため、細工人形や菊といった地域住民にとってなじみのある文化や時代を反映するとともに、人形小路付近にある施設案内や災害時の避難経路などを知らせる施設案内板や、ルートの進行方向を示す道しるべの設置を進めています。



いきがいと活力あるまちづくり・地域住民で創りあげるまちづくりの推進

子どもから高齢者に至るまであらゆる世代の地域住民にとって、まちづくり活動や地域文化の体験・伝承など多様な利用ができ、また、人形小路の核となる観光拠点として、観光情報の提供や休憩所、地元物産や文化の紹介など観光客や地域住民が幅広く利用できる拠点施設の整備を進めています。



5. おわりに

地域住民による「人形小路」を活用した、お祭りやイベントが数多く実施され、地域住民は元より、周辺地域からの参加者も多く見られ、まちににぎわいが戻りつつあります。

今後も、「誰もが住みやすく安全・安心で活気のあるまち」を目指して、地域住民との協働による街づくり及び道路整備に勤めてまいりたいと思います。